



ひとり親家庭への支援

ひとりで抱え込まず
私たちに相談してください

沖縄県ひとり親家庭支援センター (公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会)

〒903-0804
沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
県総合福祉センター3F



沖縄県母子寡婦
福祉連合会
ホームページ

電話：098-887-4099
FAX：098-887-4091
開所時間：9:00～17:00
休所日：土・日・祝日・年末年始

問い合わせ

女性力・ダイバーシティ推進課

電話：098-8666-2500

県は、ひとり親家庭の自立を支援するため、子育て、生活、就業に関する相談やサポートを一括して行う「沖縄県ひとり親家庭支援センター」を設置しています。

今回は、同センターで実施している支援事業のうち3事業をご紹介します。

1 養育費のこと、親子交流のことを相談したい。

弁護士などによる無料相談を実施しています。離婚を考

えている方も利用可能です。相談会場、予約方法、その他詳細については、同センターへお問い合わせください。

2 就職活動をしたいが、こどもを預ける場所がない！

ひとり親家庭に家庭生活支援員（ヘルパー）を派遣する「ひとり親家庭等日常生活支援事業」を実施しています（無料・上限年24日）。



仕事やスクーリング、冠婚葬祭への参加、ご自身の病気などの理由で、食事や身の回りの世話、掃除、買い物といった生活援助や、こどもの保育などのサービスが必要となった場合に、ヘルパーの派遣を行っています。

利用にあたっては、事前にお住まいの市町村窓口での登録が必要です。

3 家賃の支払いが家計を圧迫して苦しい。

児童扶養手当の支給を受けている（もしくは同等の所得水準にある）方で、「母子・父子自立支援プログラム」の策定を受けている方を対象に、入居している住宅の家賃の実費（月額上限7万円）を最長12か月、保証人不要、無利子での貸付事業を実施しています。



自立に向けたご本人の取り組みにより、就職や就労状況の改善を果たし、1年間就労を継続した場合は償還免除となります。

仕事のこと、家計のこと、子育てのこと、ひとりで悩まず、同センターへご相談ください。



読者の声（美ら島沖縄2月号）

表紙

● 鮮やかな黄色が青空に映えるイペーの花もすこく綺麗なので、表紙に使われていて嬉しくなりました。

戦後80年記憶と未来のタイムマシン

● 沖縄発のダブルブランドの紹介写真からも、アイテムの端々に「沖縄」が感じられてとても素敵でした。

Fun Fan Local「宜野座村」

● まだ訪れたことのない場所を知る機会になっています。

沖縄県子ども・若者計画

● 民生委員児童委員です。10代の妊娠出産子育ての大変さが、よく話題になります。「若ママ応援」とてもいい事業だと思います。定例会などで情報提供します。

県の動き4・知ってる？おきなわ津梁ネットワーク

● 医療が適切に受けられるのは、医療者も患者さんもお互いが安心して良いなあと思いました！

ご意見・ご感想

● 沖縄独自の職業や職種の特集をしてほしいです。伝統工芸の継承者から観光業、また県内特有の専門職など。若者たちが自身の進路を考えるきっかけとなり、沖縄の未来を担う人材育成につながるような企画を期待します。

● コンビニに行ったとき、必ずもらって楽しみながら読んでいます。

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページでご覧いただけます。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。



生活から就職まで 詳しくはこちらから
グッジョブセンターおきなわ

